

流 福 審 第 ● 号

令和 5 年 10 月 10 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市福祉施策審議会  
会長 鎌田 洋子

第 9 期流山市高齢者支援計画の策定について（答申）

令和 5 年 6 月 1 日付け流社第 149 号で諮問のあったこのこと  
について、下記のとおり答申します。

記

- 1 高齢者が自分らしく生きがいを持って地域で暮らし続けるために、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの構築を進めてください。
  - （1）高齢者は支援を受けるだけの存在ではなく、生き生きと活動し地域共生社会を実現していく担い手でもあります。高齢者が健康を保ち、介護予防に努め、これまでの知識と経験を活かして取り組む地域の中での世代間交流等の活動を支援してください。
  - （2）支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活していくことができるよう、地域共生社会の実現を支援するとともに、必要なサービスを円滑に受けることができるよう、地域包括支援センターと他分野の相談窓口との連携の強化を図ってください。
  - （3）高齢者の尊厳と権利を守るため、高齢者虐待や消費者被害などの権利侵害の早期発見・防止のための対策を強化してください。
- 2 流山市は若い年代の流入があり、高齢化率は伸びないものの後期高齢者人口の増加が見込まれるという特徴があります。人口推計を適切に行い、今後の高齢者福祉サービス提供計画に反映させるとともに、必要なサービスが高齢者に行き渡る体制を構築してください。

※下線部は前回答申（案）から変更・追記のあった部分